

平成 29 年第 3 回太良町議会  
(定例会第 2 回)

一 般 質 問 通 告 書

太 良 町 議 会

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
5. 25	1	待永るい子	<b>1. ふるさと応援寄付金について</b> 返礼品を使った本格的なふるさと納税開始から3年目を迎え1年目から2年目へは寄付金額が3倍となる飛躍的な伸びを示しています。自主財源の少ない我が町にとっては大変有難い制度であり、寄付金増額のため、更なる努力と工夫を重ねていく必要があると考え、今後の取り組みについて質問します。 (1) ふるさと応援寄付金事業費の内訳について (2) ふるさと納税協力事業者数及び今後の展開について (3) ふるさと応援寄付金事業の民間委託について	町 長
			<b>2. 各種検診について</b> 厚生労働省の発表によりますと、2015年度の医療費概算額が41兆円を超え、過去最高と言われています。太良町では予防医療や早期発見のために毎年、各種検診が実施され、多良地区、大浦地区に分けての健診や土曜日・日曜日の健診など行政側も様々な工夫を凝らしているが、思うように受診率が向上していない状況が見受けられる。このような状況を踏まえて質問します。 (1) 基本健診から特定健診へ移行した目的及び受診率の推移について (2) 若年層健診の取り組み状況について (3) 健診受診の意識向上のための施策について	町 長
5. 31	2	竹下 泰信	<b>1. 各行政区や各種団体等から提出された要望書の取り扱いと対応について</b> 新年度となり2カ月が過ぎたが高齢化の進行、耕地の荒廃、鳥獣被害等が拡大する中、水路・道路・橋梁、消防詰所、地域の公民館等、各種施設や構築物の老朽化、空き家の増加等により、耕作状況や住民の生活環境の悪化が懸念される。 このような状況から、各行政区や各種団体等から多様な要望書が提出されていると聞いている。 そこで、これまで提出された要望書への対応状況と今後の具体的な取り組み内容を以下のとおり質問する。 (1) 平成26、27、28年度(3年間)の要望書の提出件数とその内容はどのようになっているか (2) 解決できた件数と未解決の件数はどれくらいか (3) 積み残された未解決案件の理由とその解決方法はどのように考えているのか。また、優先順位の基準はどうか (4) 要望書を提出した各行政区や各種団体等への結果の通知、対応はどうしているのか	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
5.31	2	竹下 泰信	<p><b>2. 人事評価制度の取り組み状況と今後の運用等について</b></p> <p>地方公務員法の一部改正により能力及び実績に基づく人事管理の徹底が規定され、職員がその職務を遂行するに当たり発揮した能力と実績に基づく人事評価制度を導入して、これを任用、給与、分限等の人事管理の基礎とすることになっている。</p> <p>そこで、人事評価制度について以下のとおり質問する。</p> <p>(1) 人事評価制度の内容はどうなっているのか</p> <p>(2) 町としてこれまでの取り組み状況はどうか</p> <p>(3) 評価結果は、今後の具体的運用にどうかすのか</p>	町 長
5.31	3	田川 浩	<p><b>1. スポーツ振興について</b></p> <p>平成35年に佐賀県で国民体育大会が開催される予定である。本町はその国体へ向けてどのように取り組んでいく予定なのかを問う。</p> <p>(1) 国体開催までのスケジュールはどうなっているか</p> <p>(2) 誘致する競技について</p> <p>(3) 町内有力選手の強化について</p>	町 長
			<p><b>2. 地域活性化について</b></p> <p>今年度から佐賀県版地域おこし協力隊というべき「さが地域ツズサポーター」1名が本町に配属された。主に子育て支援について活動すると聞いているが、どのような目標を立て、これから具体的にはどのような活動をしていくのか、その取り組みについて問う。</p>	町 長
6.1	4	所賀 廣	<p><b>1. 老朽化が進む公共施設等の今後の管理計画について</b></p> <p>平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、国は平成26年4月に地方公共団体に対して「公共施設等総合管理計画」の策定を求めた訳だが、公共施設、インフラ施設のそれぞれについて、今後、どの様に整備計画を進めていくのか。</p>	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
6.1	5	平古場公子	<b>1. 男女共同参画の現状と今後の取り組みについて</b> 第4次総合計画の中に「男女が互いに人権を尊重し、個性と能力を十分に発揮し、自分らしく暮らせる社会の実現に向け、男女共同参画の計画に基づく意識づくりや環境づくりを進めます」とあります。そこで2点質問します。 (1) 太良町の男女共同参画はこの総合計画に基づき、どのような取り組みをされているのか (2) 県内殆どの市町で女性ネットワークが結成されています。太良町でも女性ネットワーク実現に向けて、役場内に専任職員の配置の考えはないか	町長
			<b>2. 有明海再生に向けての今後の取り組みについて</b> 有明海再生が叫ばれてから、早20年が経過しました。海況は悪化するばかりで、漁業者は窮地に立たされています。原因は様々に捉えられていますが、諫早湾閉め切りが始まりです。そこで3点質問します。 (1) 現在、どのような補助事業がなされているのか (2) 諫早湾閉め切りで一番の被害を受けている町内の漁業者に今後、どのような対策を考えていかれるのか (3) 道越漁港の浚渫工事の計画について	町長
6.1	6	久保 繁幸	<b>1. 太良町のまちづくりと活性化について</b> 今年度中には人口9,000人を割る事が予想され、増々、少子高齢化が進み、人口減少が避けられない本町であります。いかにして後継者や交流人口を増やすのか、今後のまちづくりと活性化について現状と課題を問う。 (1) 3月議会の施政方針で述べられた「産業振興推進研究会」の研修や勉強会の実施状況について (2) 総務省通達でふるさと納税の返礼品は寄付額の3割以下にするよう指導されたが返礼事業内容はどうか (3) 地方都市圏への販路拠点づくりについて、今後、どのような事を考えているのか (4) 水産資源確保のためのかに蓄養場の活用、又、陸上かに蓄養場の進捗状況と今後アワビの生産、販路拡大はどのような方向性になるのか	町長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
6.1	7	末次 利男	<p><b>1. 地方創生総合戦略について</b></p> <p>太良町の人口ビジョンは現状と将来推計を分析して特性と課題の把握と展望の提示に重要であることから次の2点について考えを問う。</p> <p>(1) 太良町定住促進住宅整備事業（PFI事業）内容とその入居基準（入居条件）や各種奨励事業について</p> <p>(2) 戸建て住宅や分譲地造成・空き家活用等住宅政策について</p>	町 長
			<p><b>2. 新たな雇用の創出について</b></p> <p>少子高齢化は想像以上である。1次産業の活性化と併せて新たな雇用を生み出すことが人口政策に繋がると思うが次の2点について考えを問う。</p> <p>(1) 木質バイオマス発電事業による雇用の創出について</p> <p>(2) 企業誘致への取組状況について</p>	町 長